

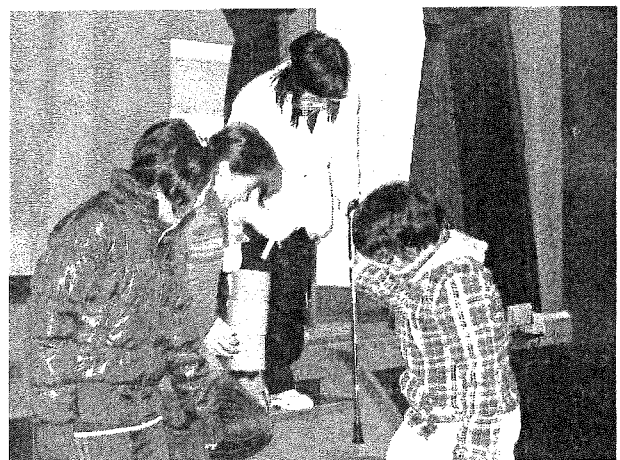
常盤小学校



アイマスク体験



車いす体験



高齢者疑似体験

みんなの幸せ

藤崎町立常盤小学校

六年

小田桐 綾香

私が一番心に残ったのは高齢者

疑似体験についてです。私はおば

あちゃんが好きです。私のおば

あちゃんはもうすぐで八十才近く

なのに元気で、前まではバトミン

トンもしていたくらいです。私の

おばあちゃんは元気だけど、不自

由なこととたくさんあります。た

とえば目があまりよくないことで

す。おばあちゃんは毎日眼鏡をし

て新聞を見ていますが、眼鏡をつ

けていない時は目を細めて見てい

ます。私はおばあちゃんやおじい

ちゃんの本当の体を味わったこと

がないからあまりわかりませんが

おばあちゃんはいつまでも元気で

いることはできないので、今から

おばあちゃんが楽になるようにい

いサポートをしたいです。

それと高齢者だけが不自由なの

ではありません。生まれつき、目

が見えない人や耳が聞こえない人

がこの世にはたくさんいます。私

達は障害もなくとても元気ですが

障害を持った人も私達と全く変わ

らない同じふつうの人間なので、

障害もその人の一部だと思って、

向き合っ。ていきたいと思ひます。
また、障害を持つ。てゐる人は見た
目でわからない人もたくさんいま
す。そんな人は、自分の体が思う
ようにいかないし、自分から進ん
で話しかけるのも難しいことだと
思ひます。でも障害を持つ。てゐる人
も必死にがんば。てゐるし、クラ
スのみんなはそれを受けとめてあ
げるべきだと思ひます。時にはや
。てはいけないことをやつ。てしま
うこともあるかもしれないが、
その時は、そのままにするのでは
なく悪いことは注意していくと、
障害を持つ。てゐる人もいろんなこ

とを知。ていけると思ひます。
次は車イスについてです。車イ
スは足が不自由な人が使うもので
す。私は車イスをおしてみました
が少し不安でした。もし階段から
落ちたらどうしようなどと考へて
しま。て、あまり声かけをするこ
とがうまくできませんでした。車
イスをおしながら声かけをしなけ
ればならないし、コミュニケーション
もよくなければなりません。
私の母は明生園で働いていて、
車イスで通る人をよく見かけます。
乗。ていた高齢者はとても楽しそ
うにおしてゐる人としやべ。てい

ました。その人達はすごいコミュニケーションがとれていました。私は将来車イスをおすことがあるかわかりませんが、車イスをおす時は自分も乗っている人も安全に安心して車イスをおせるようにがんばりたいです。

手話はよくNHKのニュースで使っているところを見たことがありません。私の身近に耳が悪い人はいます。私の身近に耳が悪い人はいないのでなかなか使いません。でも手話の勉強をしてみたい。ふだんもけっこう手話を使っていることばかりでした。なので私は手話がとても便利だと思います。友

達と別れて帰るときに「バイバイ」と手をふります。この手をふるしぐさも手話で使われています。友達と会話している時にももつとわかりやすく伝わるように「このくらい」などと大きさを手で表すこともあります。手話にはいろんな意味がこめられていて、共感できるところがたくさんありました。それをふくめて手話はおもしろいと思いました。私の国語辞典の最後のページにも手話のやり方が書いてあるので自分の名前の手話などを作ってください。最後に私は高齢者の気持ちにな

て考えてみました。常盤小学校
では、自分達で作った版画でカレ
ンダーを作り、お年よりの方に配
りました。小学校通りは十四件く
らいと、少し多かったです。でも
実際に、ちやうどしました。でも
実際に、つてみると、みんなす
ごく笑っていて、この中に不自由
な人がいるとは思えないくらい元
気でした。中には私達を見てう
るうるしている人もいました。や
はりお年よりの子供を見てるの
がすごくうれしかったです。私の
おばあちゃんもとてもやさしく
て私達といるだけでいい、という
感じ

じです。なので私はおばあちゃん
のとなりで生きているかぎり笑っ
て元気でいようと思います。また
おばあちゃんだけでなく、他の知
らない人にも笑顔であいさつす
るなど、重い荷物を持ってあげる
など、自分から進んで話しかけた
いと思います。この世にいるみん
なの幸せを私が決めることはでき
ないけれど、自分ができるかぎり小
さいことから始めていきたいと思
います。それと高齢者の人以外の
体の不自由な人にもいろんなこと
をしてあげたいと思います。

福祉体験をやった感じた事	藤崎町立常盤小学校	六年
私は学校のフリースクールで社会福祉体験をしました。一回目は高齢者疑似体験。二回目は車いす体験と手話を体験しました。	三浦	京乃
一回目の高齢者疑似体験では、耳せんやおもり、ぼやけて見えるめがねを付け、自分の名前を書いたり、階段をのぼったりしました。その中でも印象に残っているのは、ぼやけて見えるめがねを付けてお題の書かれています。めがねはぼやけて読むことです。めがねはぼやけて読むことです。		

ていて、とても字なんて読める状態ではありませんでした。他は、目かくしをしてマツトの上や、すをよけたりしながら歩く体験もしました。私は目の見えない人や耳が遠くなつた高齢者の入達はいつもこのように生活しているんだと改めて思いました。

二回目の車いす体験では、乗っている入の立場を考えたが、サポートしたり、おしたりしました。先生が「声もかけなきゃ、乗って入は分からないよ。」と言ったので、私はレバーをふんで車いすをあげる時に、ここで声をかけない

ければと思い、乗っている人が安心するよう、「今から、ちよつと上にあげますよ。」と言いました。すると乗っていた人が「言ってくれたから安心した。」と言ってくれました。私は安全に気をつけておすのもいいけど、声をかける方が大事という事がわかりました。その次に、手話体験をしました。手話は耳が聞こえなくて、言葉を上手に話せない障害の人が使う手で会話する事です。まほんのあいさつや、数、言葉などを楽しく体験しました。私はこの手話体験を通して、いろんな意味が

ある事を初めて知りました。あいさつはカーテンを開けて夜や、まくらをはずして朝という意味があり、私はとても興味を持ちました。そして、家に帰り、テレビをつけると手話ニュースがうつりました。その手話をやっている人も耳が聞こえない障害という事が分かりました。耳が聞こえない分、手話で会話してみたいです。福祉について考えたら、他にも学校や家で福祉活動をしている事に気がつきました。まず学校では、赤い羽募金やユニセフ募金をしています。他にはペットボトルのキ

ヤッ プや プル タブを 集め ユニセフ
活動や車いすと交かんしたりして
います。私も募金の時は、少して
も多くと思ひ募金をしています。
去年は、全校のみんなで版画カ
レンダーを作り、一人暮らしのお
年寄りに各地区に分かれて一人一
人届けました。「ありがとう」と
言われると、苦勞して作ったかい
があつたなと思ひました。
そして家では、募金活動の他、
祖父はユニセフ活動、おばさん達
は二人共老人ホームやデイサービ
スにつとめています。トイレや食
事を上手にできないお年寄りのた

めにサボートしたり、体を洗つて
あげるといふけ、こう体力がいる
仕事だとよく話してくれます。私
のひいおばあちゃんは今で八十
すぎぐらいになるのですが、デイ
サービスに通っているおかげで、
物忘れもなく、食欲もあり今は漢
検五級のテキストをやっています。
あと近所には、お年寄りが多く
毎日自分の家の前を通ります。そ
してそのお年寄りの入達が行くと
ころには老人ホームと常盤温泉が
あります。常盤温泉には、まだま
だ歩けるお年寄りが多く、老人ホ
ームには、毎日行き帰りをバスで